洋司 石岡市長 2期目就任インタビュ・

チャレンジの4年へ

2期目がスタートした谷島洋司市長に、1期目の振り返りや今後の公共事業に ついての展望を聞いた。市民の命と健康、地域経済を守ることに力を注いだ1期 目を経て、2期目はまちの魅力を高め、発信する施策に取り組む。市の目標であ る人口創出に向け「毎年50万人が訪れる『石岡のおまつり』だけにとどまらず、 訪れた人が市の魅力を感じられるようなまちづくりを目指していく」と話す。



も、日頃から積極的に行ってい意見交換や情報交換について ◇事業者との意見交換

ます。24年度からは、奨学金のの共催で就職説明会を行ってい 返済補助事業も新たに始めまし の取り組みとして、地元企業とた、地元で就職してもらうため 験などを開催しています。 ま を目的に、子どもたちを対象と したインフラのメンテナンス体 建設業を理解してもらうこと 、奨学金の

石岡スケートボードパーク

しており、それぞ 親元を離れて暮ら

3人の子どもは業がリフレッシュ

れが好きなことを していることがう れしくもあり、表 れしくもあります。 る人のうちっ人が 東京で暮らしてい るので、今度会い に行って一緒に食 事ができればと

◇担い手確保

施工の導入検討など、DX推進行っています。ほかにもICT 降の導入に向けた調査研究を 電子契約についても、25年度以 仃率100%を達成しました よる効率アップを図っていき 進めています。20年度から道 した電子入札は、23年度に禁 人札・契約のデジタル化を推

市内事業者が施工を通じて

事業者とともに発展

◇DX推進

リフレッシュ

庭の手入れで

よう自己コントロールを心掛けせんが、しっかり仕事ができる趣味の時間はなかなか取れま

の仕事とは違う作 ことが多く、普段 庭の手入れをする ています。

化に結びつくという好循環がにつながり、ますます市の活性 とが、事業者の経営基盤の安定 対率アップ 対率アップ

>石岡駅周辺整備計画

題について、生の声を聞きなが高騰など、業界を取り巻く諸問 ら解決に向けた取り組みを進め いくことが重要だと考えます

をしてもらうための仕組みづくす。適正な条件でよりよい仕事生まれることを期待していま ため、さらなるお力添えを願三脚で市の未来を作っていく りにまい進していきます。二人

若者が集うホール市の玄関口として、

を進めていく計画です。30年度の供用開始に向けて整備 館の代替として、ホールを中心 た。今後、基本計画を策定し 整備していく方針が固まりまし とする新施設を鹿島鉄道跡地に 2020年に閉館した市民会

育て、花が咲き実をつけられる

心とする新施設を整備していにつながるようなホールを中 整備 様な市民活動の拠点や交流を通 生み出す拠点であるとともに じた新たなコミュニティーを ◇ホールを中心とする新施設 関係人口や交流人口の増加

ます。目指すまちづくりの具理岡市」を将来像として掲げてい 22年度策定の総合計画では

「誰もが輝く未来へ共に創る石

合施設については55年の合併時 予定です。図書館機能を持つ複

「複合文化施設」として構想

化に向け、1期目にまいた種を

また、狭あい老朽化しているふるさと歴史館との一体的のまち」の特徴を生かしながらのまち」の特徴を生かしながらいまち」の特別を生み出していく方針です。 活性化につながるよう整備を生かしながら、中心市街地の整備に当たっては民間活力を 進めていきたいと考えていま るイメージで進めていきます。 施設は市民の憩いの場とな チャレンジの4年へ守りの4年から

中での就任で、市民の命と暮ら中がの就任で、市民の命と暮ら

しを守ることを最優先に市政を

の活用を目的に公園整備を行

てきました。

に、にぎわい創出やイベント時周辺の防災機能を高めるととも クや国分町ポケットパークの整て、西口ではステーションパー 備を進めています。東口におい 備えたスケー ては、

防災公園としての機能を 、にぎわい 供用開始となります。

駐車場となっている「いしおか 能型施設を、現在中央図書館の イベント広場」に整備していく ◇中央図書館建て替え 図書館機能を中心とした多機

医療提供体制構築を行ってきま

ら直通で特急が停車する駅で

石岡駅は東京駅・品川駅か

を図り、利用者を増やしていき あることから、利便性の向上

にいという考えがあります。

ら地域医療の問題に向き合い

るような施設を目指していま地域から石岡を訪れる目的となの大会を誘致することで、周辺 やすいホールにしていきたいと生であることから、若者が使い石岡駅は利用客の多くが高校 活動の拠点としていくととも 考えています。文化芸術や市民 った石岡市民の多様な

石岡の守り手として、安心で魅力あるまちづくりを

般社団法人 茨城県建設業協会土浦支部石岡分会

分 会 長 松 永 英 信(㈱松永工務店)

副分会長 岡 﨑 $\stackrel{-}{\rightharpoonup}$ 朗(㈱岡崎土建) 副分会長 大和田 久 進 (東亜興業㈱)

長谷川 敏 久(㈱長谷川工務店) 理事 白 田 朗(白田組土木(株)) 路 Л 博(예路川工務店) 監事 大 場 俊 夫(個イイムラ) 之(㈱大場工務店) 監事 篠 龠 正 和(篠﨑建設㈱) 飯 村

ア レス \Box ㈱木村工務店 ㈱紺野工務店 (株) 鈴木工務店 白田組土木㈱ 福井建設㈱ イム ラ (株) + ン ダ 建 設 竹 双 葉建 装 (株) (有) 1 1 (株) (有) 林 組 白田 建 設 (有) 土 建 (株) 島 産 (株) (株) 業 千代田建設㈱ ㈱長谷川工務店 平 成 建 (株) 村 九 企 I 設 (株) 大場工務店 (株) 兼 祐 篠 﨑 建 設 (株) **(有)**塚田埋設工事 田建 設 ㈱ 松 永 工 務 店 興 民 建 ン ケ ン (株) 出 崎 土 建 設 (有) 亜 興 業 (株) 日 高 建 材 **旬路川工務店** (株) 小貫工業 小 桜 建 設 ㈱ (株) 進 貢 中 沢 機 工 (株) (株) 広 伝 (株) 菱伸工営